

🏆 原点回帰 “サッカー少年少女大会”お手伝い at 府中朝日グランド🏆

✨ 天然芝の素晴らしい環境で行われたサッカー大会は、

子どもたちの夏休みのいい思い出となる✨

8月23(土)、24(日)の二日間、『サッカーがもっと好きになる少年少女大会2025』のサポートを今年もサッカー部に依頼があり、選手権予選を翌週に控えていましたが、伝統のある大会に関われることは大変名誉なことなので、喜んでお手伝いさせていただきました😊

この大会は NPO法人“府中YSS”の主催で、2003 年から青少年のスポーツ活動を支援して健全育成に貢献することを目的として夏に開かれ、今年で21回目となります。サッカー部員の中には小学生の時に参加していたものもいて、まさに、自分の原点に触れる貴重な機会でもあります。

仕事内容は、朝7時にグランドに集合して、会場準備(本部設営、グランドにテントを設置、机椅子の搬入など)に審判、受付け、駐車場誘導、後片付けなど多岐に亘りますが、日頃から高体連の会場校や少年サッカー大会の運営が生かされて滞りなく行うことができました。

今回は東京都内全域から全128チーム約4000人の子どもたちが参加し、低学年(U8)、中学年(U10)、高学年(U12)の3つのカテゴリーに分かれて猛暑にも関わらず二日間素晴らしい天然芝グランドで熱戦を繰り広げられました。子どもたちの中には将来が楽しみなものも見られました👍



🏆 会場運営・準備・設営・片付け全て、サッカー部員が行う。貴重な体験である(上)。

二日間で128チーム4000人のサッカー少年少女が、暑い中で熱い闘いを繰り広げた(下)🏆

高校生は日頃プレーヤー(する)側として主に活動していますが、各種大会は「player's first」の精神で行われているので、運営(支える)側の立場に回ることによって多くのことに気付かされます。特に、支える側の方々への感謝の気持ちは自然と謙虚な姿勢が芽生えるものです。大切な選手権大会直前であっても高校生が成長するためにとても貴重な機会をいただけ大変感謝しています。

運営チーフの甲木さん(小柳まむし代表)を始め府中YSSの大会運営役員や参加チームの指導者・保護者の方々や選手達からも、サッカー部の仕事ぶりについて高い評価をしていただき、来年も引き続きお誘いを受けました。嬉しい限りです😊

デットマール・クラマー氏が遺した名言『**サッカーは少年を大人にし、大人を紳士にする**』は、サッカーが単なるスポーツではなく、人格形成にも大きな役割を果たすことを意味しています。少年たちはサッカーを通して、チームワーク、規律、責任感、忍耐力などの重要な人生スキルを学び、大人として必要な倫理観を身につけます。現代社会においても、これらの要素は非常に重要であり、サッカーは子どもから大人まで多くの人が人間性を磨き、成長していくことができる素晴らしいスポーツだと再確認することができた二日間でした。



🏆 **果たしてサッカー部員は、サッカー少年少女達の憧れの存在になれたのだろうか？** 🏆